



ACTIVITY REPORT

主な議員活動報告(昨年7月以降)

7月12日	向山のりとし 市政活動報告会 (甲府市総合市民会館)
8月10日	関東若手市議会議員の会研修会 (茨城・つくば市)
9月2日~28日	甲府市議会 9月定例会 ※決算特別委員会に所属
10月14日~16日	甲府市議会 経済建設員会行政視察 (埼玉・長野・富山)
10月21日~23日	会派「創政こうふ」行政視察 (高知・愛媛)
10月29日	第11回 地域医療政策セミナー (東京)
10月30日	東八代広域行政事務組合 平成27年第1回臨時会
11月3日	向山のりとし後援会「みんなでつくる動物園ツアー」 (甲府市遊亀公園附属動物園)
11月18日	甲府市議会 経済建設委員会
11月23日	「甲府市遊亀公園附属動物園について市議と語る会」(甲府市総合市民会館)
12月2日~15日	甲府市議会 12月定例会 ※一般質問 向山憲稔登壇
12月22日	東八代広域行政事務組合 平成27年第2回定例会
2月10日	甲府市議会 リニア中央新幹線研究会
2月13日	向山のりとし 市政活動報告会 (大里悠遊館)
2月16日	甲府市議会 経済建設委員会
2月17日~18日	会派「創政こうふ」行政視察 (山形)
2月20日	向山のりとし 市政活動報告会 (大里悠遊館)
2月29日~3月22日	甲府市議会 3月定例会
3月13日	山梨QB後援会甲府支部結成総会 (甲府市総合市民会館)
3月24日	東八代広域行政事務組合 平成28年第1回定例会



1.選挙後も万才橋などで行っている街頭演説。/2山梨QBの横田はつき選手(甲府西高出身)を激励。応援しています! /3.消防団をはじめ、地域活動に積極的に参加しています。 /4.約100人の市民が集まり、活発な議論があった「甲府市遊亀公園附属動物園について市議と語る会」。/5.今春は公立校の卒業式、入学式に議員として出席。感動的な卒業式で泣いてしまいました。/6.講演会やシンポジウムに出席し、市議の仕事内容や甲府市の課題を説明。様々な場面で情報発信を続けていきます。



PROFILE

[プロフィール]

昭和59(1984)年7月17日
甲府市大里町のスーパー「シーサイド向山」の長男として誕生

平成3(1991)年
社会福祉法人 大鎌田保育園 卒園

平成9(1997)年
甲府市立 大国小学校 卒業
大国ミニバスケットボールクラブに入団し、バスケットを始める

平成12(2000)年 甲府市立 上条中学校 卒業
祖父・向山正郎の「政治が社会の基礎をつくる」という話がきっかけで政治に興味を持ち、政治家を目指すようになる

平成15(2003)年 山梨県立 甲府西高等学校 卒業
県内屈指の強豪校で、バスケットボール部キャプテンを務める

平成19(2007)年 明治大学 政治経済学部政治学科 卒業
大学2年の夏から議員秘書研修を経験
萩生田光一衆議院議員(自民党・東京24区)事務所での政治の一端を学ぶ

平成19(2007)年 山梨日日新聞社 入社
社会部として事件事故取材にあたったほか、地域の行政取材を担当する
警察取材や裁判だけでなく、山梨県内の社会情勢を幅広く取材・報道する

平成26(2014)年 山梨日日新聞社 退社
政治の道を志して活動始める

平成27(2015)年 甲府市議会議員 初当選
多くのご支援により、5012票をいただき初当選



ABOUT MUKOYAMA

趣味
バスケットボール スポーツ観戦
資格
教員免許
家族
妻と両親の4人家族
所属
【議会関係】 会派「創政こうふ」 経済建設員会 リニア中央新幹線調査研究会 東八代広域行政事務組合



SUPPORTERS CLUB

サポーターズクラブ(後援会)
メンバー募集中!

向山のりとしの活動を支えていただけるメンバーを募っています。ご入会いただいた方には、活動報告書や後援会からのお知らせをお送りいたします。支援の輪を広げるため、既に入会している皆様には、ご友人やお知り合いをご紹介いただければ幸いです。向山が目指す「日本一誇れる街 甲府」を創り上げるため、何とぞご協力のほどお願い申し上げます。



REAL VOICE

皆様の声を
向山にお聞かせください

普段は後援会事務所、または甲府市役所10階の会派控室に在室しています。市民の皆様のご意見ご相談を伺いますので、いつでも電話・FAX・メールでご連絡ください。
また、無尽会や会合、地域のイベントにお誘いいただければ、調整した上で伺います。お気軽にお声掛けください!

問い合わせ

向山のりとし後援会事務所
〒400-0053 山梨県甲府市大里町2051番地
電話:055-225-6471
FAX:055-225-6472
携帯:080-7758-8021

E-mail:noritoshi0717@yahoo.co.jp
HP:http://www.mukouyama-nextkofu.com
facebook http://www.fb.com/mukouyama.nextkofu

Facebookで政治活動などの情報発信をしています!ぜひ一度ご覧ください



甲府市議会議員

向山のりとし 議会活動報告

日本一誇れる街
甲府を創る

2016年 夏号

Vol.2

2016 SUMMER ISSUE

未来 NEXT



NEXT
GENERATION
KOFU 30

[ごあいさつ]

昨春の甲府市議会議員選挙から、早いもので1年以上が経過しました。皆様からのご支援に感謝するとともに、市議としての責任を果たすべく試行錯誤しながら活動する毎日です。
リニア中央新幹線、中核市への移行、開園100周年に向けた市立動物園のリニューアル事業、中心市街地活性化など甲府市が直面する課題問題は多岐に渡ります。人口減少と少子高齢化に歯止めが掛からない中で、地方都市が生き残る道はどこにあるのか。甲府市が継続的に発展するために何が必要か。先進地に学び研鑽を積みながら、皆様の声に耳を傾け、今後とも議員活動に取り組んでいきます。

一人でも多くの市民に政治行政に関心を持ってもらうため、政治家が情報発信を続ける必要があると感じています。この度、発行いたしました第2弾機関紙では、議会や地域での活動の一部を紹介しています。ぜひ一読いただき、皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。
市議会の中で同志とともに存分に力を発揮して、故郷・甲府の明るい未来につながるよう全力で頑張りますので、今後ともご指導とご支援をお願い申し上げます。

甲府市議会議員 向山憲稔



SUPPORTERS CLUB NEWS

後援会ニュース ※後援会有志が編集・構成。(敬称略)

元記者の視点で市政に臨む！



市民目線に立った政治を目指し、向山は市議会の中で発言提言を続けている。元新聞記者の視点も活かし、甲府市の予算や決算、各事業をチェックして本会議の一般質問、常任委員会での議論に臨む。リニアから教育問題、山梨クィーンビーズの支援まで幅広い分野を取り上げ、知識や経験に基づいて質問。多岐に渡る行政の事業には々々々の姿勢で向き合い、今後も前向きな議論を続けていく考えだ。向山は「行政と議会が両輪となり、円滑な市政運営が行われるようにしたい」と意気込んでいる。

市立動物園の再整備を市民と考える



3年後に開園100周年を迎える甲府市遊亀公園附属動物園について、市はリニューアルを計画している。向山はアンケートを募るなどして、市民が望む動物園を目指して行動している。昨年11月3日には、後援会主催で動物園ツアーを開催。施設の老朽化やバリアフリー対策について、参加者にアンケートをした。同月23日には、市民の意見を反映させようと市議有志でシンポジウムを企画し、約100人と動物園のあり方や園内の遊園地の存続などについて意見を交わした。市は再整備計画を2016年度中に策定する予定。向山は「来園者がいつでも笑顔になる動物園を目指して提言していきたい」としている。

・シャチ	5億円
・ニシローランドゴリラ	1億円
・ホッキョクグマ	6000万円
・アジアゾウ	3200万円
・キリン	1800万円
・カバ	750万円
・スマトラトラ	300万円
・ライオン	40万円
・カピバラ	35万円

(出典：朝日新聞GLOBE)



動物園の再整備には多額の資金が必要になります。市の試算によると、現在地で再整備した場合の事業費は25億円(動物購入費を含まず)。分園は35億円、郊外移転は5ha規模で78億円、10ha規模で136億円がそれぞれ掛かります。また、一頭当たりの動物の値段も高額(下記参照)。えさ代もあります。莫大な資金と労力がかかるだけに、中長期的な視点を持った議論が必要です。

山梨クィーンビーズ(QB)の後援会甲府支部が発足！



女子バスケットボールのWリーグに復帰が決まった山梨QBに後援会甲府支部が発足した。支部長には樋口雄一・甲府市長が就任。向山は事務局次長を務める。2月13日に復帰記念試合が開かれ、800人を超える市民が応援に駆け付けた。大企業スポンサーを持たず、市民や地元企業からの支援で活動する山梨QB。甲府市出身の横田はつき選手(甲府西高出身)をはじめ、選手やスタッフは働きながら試合を戦っている。向山は「山梨QBの選手が輝けるよう、バスケの魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい」と支援を呼び掛けている。後援会は今後、サポーターの拡大やスポンサーの獲得、今年12月開催のホームゲームに協力する。

市民と考える未来の街づくり



向山のりとし後援会は今年2月、甲府市内で市政活動報告会を開いた。会場となった地域の住民からアンケートを集め、用紙に書かれた質問に向山が答える形で進んだ。2月13、20両日に開かれた報告会には、それぞれ多くの住民が出席。11年後に開通予定のリニア中央新幹線、地域の道路や街路灯整備、中心市街地活性化など幅広い分野に関する話題が取り上げられた。向山は、甲府市の現状や対応策を示しながら「双方向性のある政治活動を目指し、市民の意見を反映する政治活動を展開したい」と訴えていた。



GENERAL INQUIRY 一般質問レポート

平成27年度12月定例会において、2度目の一般質問に立ちました。動画は甲府市議会のHP(議会中継)から見るすることができます。質問の要旨は以下の通りです。

甲府市人口ビジョン



2060年までの将来人口を展望する甲府市人口ビジョンについて、山梨県知事が掲げる「人口100万人構想」と整合性をどうやって図るつもりか。「人口100万人構想」に対する市長の見解は。

樋口雄一・甲府市長

山梨県は交流人口などをリンケージ人口とした新たな定義を設定し、2060年の常住人口約75万人にリンケージ人口を加えて100万人を目指すとしている。甲府市人口ビジョンは、あくまでも常住人口に着目した将来展望となるが、県が示すリンケージ人口の概念、また、目標人口は、シンボリックな要素として、高い目標を持って人口減少問題に取り組むという観点から有用な考え方であると感じている。人口減少問題は、県市共通の課題であり、今後も県との連携・協力体制をこれまで以上に強化し、適正な役割分担をして各分野に対する効果的な施策・事業を展開していきたい。

リニア中央新幹線



新駅周辺のインフラ整備、荒川に架かる新橋「(仮称)大里橋」の建設に対する考え方、新駅からJR甲府駅や富士山までの有効的なアクセス方法について、甲府市の見解は。

リニア交通政策監

策定中の「(仮称)甲府市リニア活用基本構想」において、新駅周辺の土地利用や道路整備方針を検討している。工事車両による渋滞対策や子どもたちへの安全対策などは、通行時間帯の制限や生活道路への進入制限をJR東海に申し入れて、その履行を強く求める。新駅から国道358号を結ぶ新たな橋については、地元要望もあるため、県市の協議を継続する中で整備の検討をお願いする。リニア新駅と甲府駅のアクセスに関しては、バス高速輸送システム(BRT)が重要だと考えている。BRTのルートは、山梨県や関係機関と十分に連携を図って協議検討していきたい。富士北麓地域までのアクセスは、「甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線促進期同盟会」で、新たなトンネル整備の検討を2015年8月に山梨県に対して要望した。さらに、リニア新駅と各地域を結ぶ新たなバス交通ネットワークは、山梨県が地域バス路線検討会を県内6つの圏域ごとに設置している。この検討会において、県やバス事業者、関係市町と引き続き検討していく。

全国学力テスト・教職員の政治的中立性



- ① 本年度に行われた全国学力テストで、甲府市は小学校の全分野で全国平均、山梨県平均を下回った。今回の結果について、甲府市教育委員会としてどのように分析しているか。
- ② 教職員の政治的中立性は教育現場で必要だと考えているか。政治的中立性を確保するため、市教育委員会の対応策はあるか。

教育長

全国学力テストで、平均を下回った明確な理由を特定することはできないが、昨年度と比較すると、算数に対する意欲の低下や家庭学習の習慣化が不十分だったことなどが理由の1つとして挙げられる。結果を重く受けとめ、学識者を委員長とする学力向上推進委員会を立ち上げたので、今後、授業改善や家庭学習のあり方について具体的な取り組み方法を考え、各学校に還元して全体的な底上げを図ってきたい。次に、教職員の政治的中立性の確保については、教育基本法をはじめ、地方公務員法・教育公務員特例法により、教職員は政治的行為が厳しく制限されている。特定政党のイデオロギーに偏った教育や、教育現場における政治的行為などについては禁止事項と認識している。選挙権年齢の引き下げに伴い、小中学校においても主権者教育の充実が求められており、児童生徒が政治に目を向ける機会が多くなるので、授業の際は、しっかりとした教材研究を行い、公平・公正を念頭に発言するなど、改めて教職員の中立性の確保について周知徹底を図ってきたい。

※甲府市議会 6月定例会(6月9日~6月22日)でも一般質問を行いました。質問の内容は、次号で詳しくご報告します。

山梨クィーンビーズ

来シーズンから国内トップのWリーグに復帰が決まったバスケットボール女子「山梨クィーンビーズ」への支援方法についての考え方は。

教育部長

甲府市は、本年3月から9月までの間、南西中学校の体育館を練習会場として提供してきたが、こうした支援が関東実業団選手権大会初優勝の一助になったと考えている。現在は、来季のWリーグ公式試合を市内の会場で開催するための準備を進めている。また、山梨クィーンビーズは甲府スポーツビューロの一員であり、そのネットワークを活用して、引き続きチームの活動支援に努めるとともに、甲府市総合市民会館のバスケットゴールの増設について、市民の利用状況などを勘案し検討していく。



手話言語条例

手話言語条例の必要性について、どのように考えているか。また、手話通訳の数は充足しているか。条例制定の動きが活発化して派遣回数が増えれば不足する懸念もあるが対応策は。

福祉保健部長

手話言語条例の目的は、手話が言語であると認識し、手話の普及に関して自治体や住民の責務・役割を示すとともに、互いに支え合う共生社会を実現することになっている。一方で、手話通訳者が少ないことや手話習得のための環境づくりなどの課題も挙げられている。甲府市は、手話言語法の制定を全国市長会で国へ要望しており、県や障がい者団体と連携を図りながら条例の必要性について研究している。手話通訳者の数については、山梨県認定手話通訳者は55人が登録されているが、本業のかたわらで手話通訳を担っている方々がほとんどで、不足している状況にある。手話通訳者の確保は、山梨県が障害者総合支援法に基づいて手話通訳者養成講習、登録試験、認定登録など対応を図っている。甲府市も手話奉仕員養成講座修了者をその事業につなげている。



LGBT(性的少数者)

同性愛のレズビアン、ゲイ、両性愛のバイセクシャル、生まれつきの性別に違和感を持つなどするトランスジェンダーの頭文字をとった性的少数者の通称LGBTについて、甲府市これまでの取り組みは。また、LGBTが原因となつたいじめ、不登校についての実態調査を行ったことはあるか。LGBTの児童生徒に対するケアはどのように行っているか。

市民部長

甲府市では、LGBTも含めた人権啓発活動において、理解を深める取り組みをしている。相談は、人権相談窓口で対応するとともに、女性総合相談窓口でも男女の区別なく相談員が対応している。市職員への研修は、他都市の状況などを調査して研究していきたい。

教育長

文部科学省は、平成25年度に学校での性同一性障害に係る対応に関する状況調査を実施した。調査の結果、甲府市において、診断名は明確につけられないが中学生1名が医療機関にかかっているとの報告があった。当該校からは、その生徒自身について特にいじめや不登校等の報告は受けていない。当該校では、服装などについて特別な配慮をすとも、全ての教職員の共通の理解のもとに一貫した対応を続け、定期的にスクールカウンセラーとの面談も継続して、無事に卒業を迎えることができた。LGBTの児童生徒に対するケアや家族への支援については、文部科学省からの通知を各校に周知徹底し、個々の事情に応じて児童生徒、保護者の心情に配慮したきめ細かい対応をするよう指導している。教師が児童生徒の悩みや不安に寄り添い、児童生徒や保護者の意向を十分に踏まえつつ、よりきめ細かな支援を行ってきたい。

